

令和4年度 女性のチャレンジ賞受賞者

1. 女性のチャレンジ賞(受賞者5名、受賞団体2先) ※五十音順

番号	候補者	推薦者	活動概要
1	株式会社アイ・ドゥー 代表取締役 後藤さとみ (62)	法務省	<p>多くの雇用を創出し、社会に貢献したいという思いから設立された人材派遣会社。求職者の適性を踏まえ、必要な教育を行いつつ企業に派遣し、職場定着に向け親身に寄り添い続ける姿勢が高く評価され、これまで実人員で8,000人を超える求職者の雇用を創出。2012年に保護観察所の協力雇用主としての登録を機に、毎年多くの刑務所出所者を受け入れ、収益の一部を更生保護事業に寄附。スタッフの8割が女性で、人材派遣業や就労支援の分野で女性が活躍する場を提供する役も担っている。</p> <p>(表彰歴) ・2019年 法務大臣感謝状(協力雇用主)</p>
2	株式会社137 代表取締役社長 黒田千佳	株式会社日本政策投資銀行	<p>誰一人取り残さない社会課題解決に向けチャレンジした「世界防災減災ハッカソン」でグローバルファイナリストに選定された構想から、2015年「緊急時情報伝達サービス 5co Voice」をリリース。災害等が発生した際、ネット利用が困難な方でも必要な情報を電話の音声で受け取れる一斉情報伝達サービスを開始。全国の自治体で導入。</p> <p>2019年には、学校連絡・情報共有サービス「COCOO」を横浜市と実装検証をへて2020年サービスリリース。2年で200校以上導入し教育DXとして革新的価値の創発へと進化。</p> <p>(表彰歴) ・2014年 世界銀行 世界防災・減災ハッカソンCode for Resilienceグローバル審査ファイナリスト ・2014年 MIT Climate CoLab Crowdsourcing for Disaster Risk Management 2014 Winner(グローバル審査ファイナリスト)、Judges' Choice Award受賞 ・2020年 (株)日本政策投資銀行主催「第8回DBJ女性新ビジネスプランコンペティション」DBJ女性起業大賞 および最優秀ソーシャル・デザイン賞受賞 等</p>
3	奥村 仙示 (50) 同志社女子大学 准教授	徳島大学	<p>県内の糖尿病死亡率が高い現状に対し、低カロリー密度のデンシエット(Densiet)弁当を複数の企業と共に研究・開発・販売。累計200万個、12億円を売り上げた。2020年総務省行政評価局「産学官連携による地域活性化に関する実態調査」において徳島県成功事例として掲載。逆に高齢者に対しては効率良く栄養が摂取できる高カロリー密度の研究を実施。</p> <p>2014年より徳島県科学技術県民会議委員を務め、徳島県の科学技術の進展に貢献。</p> <p>(表彰歴) ・2020年 徳島県科学技術大賞(科学技術振興部門) ・2021年 日本臨床代謝栄養学会(フェローシップ賞) ・2022年 徳島大学大学院医歯薬学研究部長表彰 等</p>
4	佐伯 和可子 (38) 一般社団法人若葉会 代表理事	大分県	<p>学習支援の他運動会・文化祭等を実施するフリースクールを設立。その後、学童保育、自立支援寮、個別療育塾等の部門を設け様々なニーズに対応。デイサービスや訪問看護等児童・母子福祉の分野にまで手を広げている。2021年には県内の他団体とともにフリースクール連合会を設立、会長を務め横展開を強化。2022年には県内初のグローバルスクールを開校。県の教育委員会とも密に連携し、数々のプログラムに参画。</p> <p>(表彰歴) ・2019年度 大分県人権尊重社会づくり推進功労者賞受賞 ・2020年度 大分県女性のチャレンジ賞受賞 等</p>

5	<p>すぎやま まちこ 杉山 真智子(62)</p> <p>認定特定非営利活動法人 よつばのクローバー 理事長</p>	滋賀県	<p>児童養護施設でのボランティアをきっかけに、子どもたちの自立援助ホーム(シェアハウス)の運営を開始。地域との交流の機会創出のため学習支援や無料夕食会等のイベントを実施する等創意工夫を行う。同氏の取組が県や関係機関を動かし、施設出身者だけでなく、滋賀にいる社会的養護の子ども・若者の幸せを願う「滋賀県地域養護推進協議会」の発足につながった。協議会形式をとることにより、就労・障害・司法など多様な支援機関との連携を図っている。</p> <p>(表彰歴) ・2014年 ハン六文化振興財団 地域振興賞 ・2019年 第53回社会貢献者表彰(公益社団法人社会貢献支援財団)</p>
6	<p>ほしこ あや 星子 桜文(47)</p> <p>株式会社スター・フローレス 代表取締役社長</p>	熊本県	<p>エネルギー分野において2010年廃食用油をバイオディーゼル燃料に精製する会社を設立。低炭素社会の実現とエネルギーの地産地消に取り組む。学校や自治会等に廃油回収スポットを設置するなど、地域を巻き込んだ循環型社会の構築に取り組んでいる。</p> <p>また、環境負荷軽減の観点からナノファイバーに着目し、利用を促進するコンサル会社を起業。海や川の浄化、空気清浄化等に取り組み、海外で発生した重油流出事故の早期解決にも貢献するなど、地球規模での活動を行っている。</p> <p>(表彰歴) ・2013年 第22回くまもと環境賞「くまもと循環型社会賞」 ・2013年 地球温暖化防止活動環境大臣賞(対策活動実践部門)等</p>
7	<p>やまだ 山田 ロサリオ(69)</p> <p>特定非営利活動法人 にほん じん 日本ボリビア人協会 理事長</p>	三重県	<p>日本に移住後、阪神・淡路大震災で被災した在日ボリビア人の互助組織を立ち上げ、以降、スペイン語圏出身の外国人からの生活相談等に対応。また、世界初のスペイン語で学べる日本語通信講座を開設。</p> <p>新型コロナ対策では県と連携し、インターネットラジオを開設してスペイン語で在日外国人に向け積極的に発信。ボリビア文化を紹介するイベントの開催やボリビア産アルパカ毛糸を使った手編み製品の商品化等、地域と在日外国人の架け橋的存在として活躍。</p> <p>(表彰歴) ・2017年 三重県「チャレンジャーズ・アワード2017」ファイナリスト「井村屋グループ賞」 ・2021年 文化庁「令和3年度文化庁長官表彰」 等</p>

その他、「2. 女性のチャレンジ支援賞(受賞者2名、受賞団体1先)」「3. 女性のチャレンジ賞特別部門賞「デジタル社会に向けて」(受賞者2名、受賞団体1先)」があります。